19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公開特許公報(A) 昭62-164092

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)7月20日

G 10 G 7/02

6789-5D

審査請求 未請求 発明の数 2 (全5頁)

図発明の名称

液晶表示付調律器

②特 願 昭61-5970

②出 願 昭61(1986)1月14日

砂発明者 千葉

光 晴 東京都江東区亀戸6丁目31番1号 セイコー電子工業株式

会社内

⑪出 願 人 セイコー電子工業株式

東京都江東区亀戸6丁目31番1号

会社

19代理人 弁理士 最上 務 外1名

明細書

1. 発明の名称

液晶表示付顯律器

2. 特許請求の範囲

(1) 音声あるいは楽器音等の被调律音のピッチを 抽出し抽出したピッチの基準の周波数からの偏差 を表示する表示装置を備えた調律器において、基 準信号発生回路と、外部入力回路と前記外部入力 回路の出力に接続された波形整形回路と、前記波 形盤形回路の出力信号と前記基準信号発生回路の 出力信号を受けて外部入力信号のピッチを演算す るためのピッチ抽出演算回路と、前記ピッチ抽出 读算回路の出力に接続された液晶駆動回路と、前 記液晶駆動回路に接続された液晶表示部とを備え た液晶聚示付個復器。

(2) 音声あるいは楽器音等の被調(な音のピッチを抽出し抽出したピッチの基準の周波数からの偏差を表示する表示装置を備えた調(な器において、基

準信号発生回路と、外部入力回路と、前記外部入力回路と、前記外部と、前記外部と、前記整形回路の出力に接続された被形整形回路の出力信号を受けて外部入力信号のピッチを演算の出力信号を受けて外部入力信号のピッチを演算は出演算回路の出力に接続された液晶製示部と、前記液晶製示部の後部位置に設置したエレクトロルミネッセンス発光板を駆動するためのエレクトロルミネッセンス駆動回路を備えた液晶製示付調律器。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、音声あるいは楽器音等の被調律音を固定基準音との周波数偏差を表示し、調律に用いる調律器に関する。

(発明の概要)

本発明は、調律器の表示に液晶表示装置による デジタル表示を行うことで、表示内容を正確に流 み取れる調律器を提供するものである。

また、前記液晶投示装置の照明に表示部全体に均一で高輝度な照明を達成させるため、液晶表示部の後部位置に設置したエレクトロルミネッセンス発光板と、照明設定用外部スイッチ手段を備え前記スイッチのON.OFFにより表示部の照明を選択的に行い、従来にない高輝度で明瞭な液晶表示付調律器を達成させたものである。

[従来の技術]

従来の胴体器は、被調律音を外部入力回路を介して入力された電気信号を被形盤形回路に入力の 直に被形盤形回路の出力信号を被照律音の固定のの 基準周波数電圧変換回路を介して直流電圧に変換 しくりはメータ表示装置により周とリメータ表示 はしくりよータ表示装置により周とリメータを する方法が知られる。また前記とリメータ表で りにしED素子を用いたしEDメータ表示装置が ある。前記しED素子を設置して前記周波数偏差分の は号を向記とUメータの動作に類似した発光表示

ピッチと被調律音の固定の基準信号との比較演算 を行い基準周波数との偏差値を算出する演算制御 手段を備え、前記演算制御手段の演算結果を入力 するデータ変換回路を備え、前記デーク変換回路 の出力に接続された液晶駆動回路と、前記液晶駆 動回路に接続された液晶裏示部を備える構成とし た。

また、上記表示部の照明装置の欠点を無くする ために開発された手段は、外部スイッチ回路と、 エレクトロルミネッセンス駆動回路と、エレクト ロルミネッセンス発光板とから構成されている。 (作用)

上記機成の作用は、先ずピッチ抽出演算手段が被調律音のピッチを抽出し、被調律音の固定の基準信号との比較演算手段により算出された被調律音の音名および偏差値の演算結果を液晶駆動手段の入力信号に変換するデータ変換回路を備え、前記データ変換回路に接続された液晶駆動回路を介して、液晶表示部に入力され表示するよう動作し、液晶表示によるデジクル表示の目的を達成する。

させるための演算変換回路を介して、LEDメーク表示装置により表示することが知られていた。

また、このような調律器の表示装置の照明としてLEDランプが知られていた。

(発明が解決しようとする問題点)

従来の調律器の表示は、メークを用いたアナログ表示であったが、姿勢差による誤差表示やメーク文字板とメータ指針との照らし合わせによる判 読がつきにくいなどの欠点があった。この欠点を 改善するためメータの替わりにLEDを用いた調 律器がある。しかしLEDを用いた場合は低消費 電力が望めなく、しかも低コストで出来ないなど の欠点があった。

また、このような調律器の従来の表示部照明装置は、 LED ランプが主流であるが表示部全体に均一で高輝度な照明ができないという欠点があった。

(問題点を解決するための手段)

本発明は上記の欠点を無くするためのもので、 その手段は被調律音のピッチを抽出し、抽出した

また、上記液晶表示部の後部位置に設置したエレクトロルミネッセンス発光板の照明は、先ず外部スイッチ回路の照明設定用信号を受けて前記エレクトロルミネッセンス発光板を駆動するためのエレクトロルミネッセンス駆動回路を備え、前記エレクトロルミネッセンス発光板が発光し、従来にない表示部全体に均一で高輝度な照明装置の目的を達成する。

(実施例)

以下、本発明を図面に基づき詳細に説明する。 第1図は本発明による液晶表示付調練器のブロック図である。第1図中1は外部入力回路であり外部入力回路1により被調律音が入力される。前記外部入力回路1の出力に接続された波形整形回路2と、基準信号発生回路4とを有し、前記波形整形回路2の出力信号と前記基準信号発生回路4の出力信号を受けて外部入力信号のピッチを演算し、また基準周波数との偏差値を演算し、算出された演算信号を液晶表示するためのデータに変換する

6とから構成

33図に示す

パルス信号

は、前記パ

3 において

イミングを

ッチ抽出回

立上り間隔

ス信号Bの

かつ、Σ ti i・1 ときピッチ ではΣ ti = t , + t z

、要同回ル連路1液通ス点後光図図の路の信、 割号1は安でっの位にの号2御発1デ示おチス選6にの号2御発1デ示おチス選6

特開昭62-164092 (4)

を駆動するためのエレクトロルミネッセンス駆動 回路15とから構成される。

エレクトロルミネッセンス駆動回路 1 5 は、スイッチ回路 1 4 の液晶パックライト点灯のスイッチ信号を受けて、エレクトロルミネッセンス発光板 1 6 を点灯させるための駆動電圧を前記エレクトロルミネッセンス発光板 1 6 に供給する。エレクトロルミネッセンス発光板 1 6 は、駆動電圧を受けて点灯し液晶表示部 6 の照明とすることができる。

以上のような実施例において、表示部に液晶表示部 6 を備えたことにより、被調律音の音名および周波数偏差値をデジタル表示することができ、また液晶表示部 6 の照明にエレクトロルミネッセンス発光板 1 6 を備えたことにより従来にない高輝度で明瞭な照明効果を有する調律器を提供することができる。

(発明の効果)

以上のように、本発明によれば調律器の表示部 に液晶を備えるようにしたから、デジタル表示が でき変示内容が一目 欧然に判認可能となり、しかも 表示部の低消費 電力化もでき、さらに表示装置が低コストで実現できる効果を有する。

また、液晶表示部の後部位置に設置したエレクトロルミネッセンス発光板を備えるようにしたから、表示部全体に均一な照明が出来、しかも従来の照明装置で実現し得なかった高輝度で明瞭な照明効果を有する調強器が実現できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明にかかる液晶表示付調律器のプロック図、第2図は、液晶表示付調律器の詳細回路プロック図、第3図は、波形整形回路の入力信号Aおよび出力信号Bのクイミングチャート、第4図は、液晶表示付調律器にエレクトロルミネッセンス発光板を備えた回路プロック図である。

1 ……外部入力回路

2 ……波形整形回路

3 ……ピッチ抽出演算回路

4 ……基準信号発生回路

5 ……液晶駆動回路

6 ……液晶表示部

7……カウンタ

8……パルス制御回路

9……ピッチ抽出回路

10……オクタープ・音名検索回路

1 1 ……記位回路

1 2 ……セント値演算回路

13 ……データ変換回路

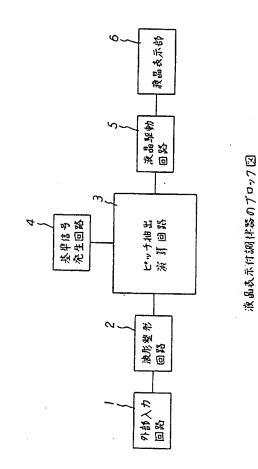
1 4 ……スイッチ回路

15……エレクトロルミネッセンス駆動回路

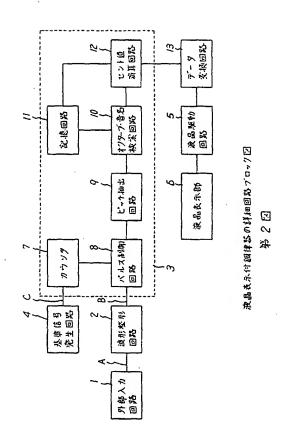
18……エレクトロルミネッセンス発光板

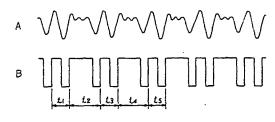
以上

出願人 セイコー電子工業株式会社 代理人 弁理士 優 上 務(他1名)

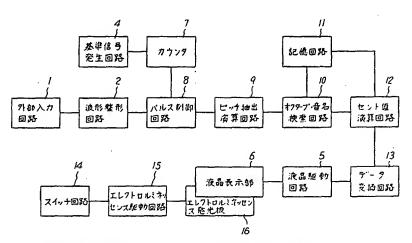


淥





波形整形回路の入力信号A 及び出力信号 B のタイミンプナャート 第 3 図



液晶表示付調体器にエレクトロルミネッセンス発光板を備えた回路プロック回 第 4 図